



Covid-19ワクチン-よくある質問

妊娠、母乳育児、受精能力

COVID-19ワクチンは、妊婦に推奨されますか？

はい。CDCと、米国産科婦人科学会、母体胎児医学会、米国看護師助産師学会など、妊娠に関する専門家は、妊娠中及び授乳中の女性へのCOVID-19ワクチン接種を推奨しています。

COVID-19ワクチン接種が胎盤の発達を含む妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。2021年7月の時点で、139,000人以上の妊娠中の方がワクチン接種を受けていますが、妊娠や胎児への問題は発生していません。流産、発育障害、または先天性欠損症のリスクが高まるという報告はありません。

COVID-19自体が妊娠中の深刻な懸念事項であることは分かっています。COVID-19に感染した妊娠中の女性及び最近妊娠した女性は、妊娠していない人に比べより重症になり、入院する可能性が高くなります。また、COVID-19に感染していない妊娠中の女性と比較して、早産などの妊娠合併症を起こす可能性が高くなります。



COVID-19ワクチン接種は、妊娠中の方をCOVID-19による重篤な疾病から守ります。COVID-19 mRNA ワクチン接種者に関する研究で、乳児の臍帯血と母乳に抗体が確認されました。これは、妊娠中のワクチン接種がCOVID-19から乳児を保護するのにも役立つ可能性があることを意味しています。

妊娠中のCOVID-19ワクチン接種の安全性と有効性に関する証拠が増えていることは、COVID-19ワクチン接種の利点が既知または潜在的なリスクを上回っていることを示しています。詳細については、母体胎児医学会のガイダンス「[妊娠中または授乳中のCOVID-19ワクチン接種](#)」及びCDCのウェブページ「[妊娠中または授乳中のCOVID-19ワクチン](#)」を参照してください。

妊娠中でワクチン接種について質問がある場合は、医師に相談しましょう。また、MotherToBaby では、英語またはスペイン語で専門家と相談することもできます。この秘密厳守の相談無料サービスは、月曜日から金曜日（8am-5pm）に利用できます。866-626-6847 へ電話、855.999.8525 にテキストの送信、ContactUs@mothertobaby.org への電子メール、または mothertobaby.org/ask-an-expert/ でチャットで連絡してください。

母乳育児中の方はワクチン接種を受けることができますか？



はい。CDC、アメリカ産科婦人科学会、母体胎児医学会、アメリカ看護師助産師学会などの専門家は、母乳育児をしている人にCOVID-19ワクチン接種を受けることを推奨しています。

授乳中の女性はワクチンの臨床試験の参加者に含まれていません。しかし、ワクチンの作用機序を考えると、ワクチンが乳児にとってリスクになるとは考えられていません。最近の報告では、ファイザー製またはモデルナ製ワクチンの接種を受けた母乳育児中の人の母乳には抗体が含まれており、乳児の保護に役立つ可能性があることが分かっています。これらのワクチンは母乳には移行しません。



Covid-19ワクチン-よくある質問

妊娠、母乳育児、受精能力

いずれ子供を持ちたいと思っていますが、COVID-19ワクチン接種を受けても安全ですか？

はい。CDC（疾病予防管理センター）は、妊娠中、授乳中、現在妊娠しようとしている人、または将来妊娠する可能性のある人を含む、12歳以上のすべての人にワクチン接種を推奨しています。妊娠中の方は、妊娠していない方と比較して、COVID-19に感染した場合、重症になる可能性が高くなります。さらに、妊娠中の方は、COVID-19に感染していると、早産などの合併症を起こす可能性が高くなります。

COVID-19ワクチンが胎盤の発達を含む妊娠に問題を引き起こすという証拠はありません。また、女性または男性の不妊症の問題がCOVID-19ワクチンを含むワクチンの副反応であるという証拠もありません。ワクチンは人のDNAを変化させることはなく、思春期や十代の青少年の発達に影響を与えるという証拠はありません。

詳細については、CDCのウェブページ、[妊娠を希望されている方へのCOVID-19ワクチン](#)をご覧ください。

COVID-19ワクチンは月経に影響を及ぼしますか？

一部の女性は、ワクチン接種後の生理の変化を報告しています。これには、より多い出血や酷い生理痛などが含まれます。これらの変化がワクチンによるものかどうかはまだ分かっていません。月経の変化はワクチンの臨床試験からは報告されておらず、この問題に関する研究結果はまだありません。ストレスや睡眠、食事、運動、一部の薬など、多くの原因が月経周期の変化を引き起こす可能性があることを認識しておくことが重要です。生理不順は10代の若者の間では非常に一般的なものであり、特定の原因がまったくない場合があります。ご自身の月経やお子さんの月経について懸念がある場合は、医師に相談してください。

